

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 23 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/23 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 2.0 m ³ /h	32.5 °C	105.3 kPa abs	A系: 0.19 vol%
		給水系: 約 2.9 m ³ /h			B系: 0.19 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 4.3 m ³ /h	44.8 °C	6.34 kPa g	A系: 0.05 vol%
		給水系: 約 1.9 m ³ /h			B系: 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 4.5 m ³ /h	44.8 °C	0.21 kPa g	A系: 0.20 vol%
		給水系: 約 1.9 m ³ /h			B系: 0.19 vol%

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- 【1号機】・10/21 15:29 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.7m³/hから約 3.0m³/hに調整、炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0m³/hで継続。
 ・10/22 17:17 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.7m³/hから約 3.0m³/hに調整、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.9m³/hから約 2.0m³/hに調整。
- 【2号機】・10/21 15:29 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.3m³/hから約 4.5m³/hに調整。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/23 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	23.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	20.9 °C
4号機	循環冷却システム	停止中	34 °C

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- 【2号機】・10/15 6:07 使用済燃料プール代替冷却系において、弁追設および逆止弁点検、ドレン配管の設置作業を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止。
 ・10/19 16:46 作業が終了したことから、使用済燃料プール代替冷却系を起動。プール温度は冷却停止期間中に約 23.0°Cから約 36.3°Cまで上昇したが、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があり、プール水温度管理上、問題はない。
- 【4号機】・10/22 9:36 使用済燃料プール代替冷却系において、二次系配管のポリエチレン管への交換作業を行うため、使用済燃料プールの二次系を停止。
 なお、停止時のプール水温度は約 29.0°Cで、停止中のプール水温度上昇率については約 0.43°C/h、停止中のプール水温上昇は約 23.8°Cと評価しており、運転上の制限値 65°Cに対して十分余裕があり、プール水温度管理上、問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/15 18:05 ~ 10/23 8:46 移送実施
	タービン建屋		10/23 13:07 ~ 移送実施中 *
6号機	6号機 タービン建屋	仮設タンク	10/23 10:00 ~ 15:00 移送実施

* たまり水移送ラインの配管取り替えのため、10/23 8:46~13:07 に移送停止。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/23 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/10/23～ 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。

以 上